

# バードリサーチ ニュース

2013年8月号 Vol.10 No.8



*Sterna dougallii*  
Photo by Yoshiro Watanabe

## 活動報告

### 北海道から九州まで！！ ～ヨタカアンケート速報～

平野敏明

バードリサーチニュース5月号で調査のご協力をお願いしましたヨタカアンケート調査について、8月4日までに届いたアンケートをもとにヨタカの記録状況を簡単にまとめました。

ヨタカの調査は、夕暮れから翌朝の夜間の調査になるため、参加していただける方が少ないのではないかと危惧していたとおり、バードリサーチが実施しているほかの調査と比べると参加者数があまり多くありませんでした。しかし、アンケートは北海道から九州まで19名の方から合計71件が寄せられました(図1)。このうちヨタカの生息が確認



写真1. ヨタカ.



図1. ヨタカアンケートによって情報が得られた場所。赤は生息が確認された場所、水色は生息が確認されなかった場所。

### ヨタカの生息環境

このアンケートでは大まかな環境も合わせて報告いただきました。その結果、ヨタカの生息が確認された環境は、植林地と森林が各17件で、この二つの環境区分で全体の83%を占めました(図2)。ほかにダム湖などの湖沼を含む森林や農地を含む森林、河川敷に発達した低木林、牧草地でも生息が確認されました。平野ら(2012)は、栃木県における調査からヨタカが若齢植林地やダム湖の周囲の森林を選好することを報告しています。そのため、今回アン

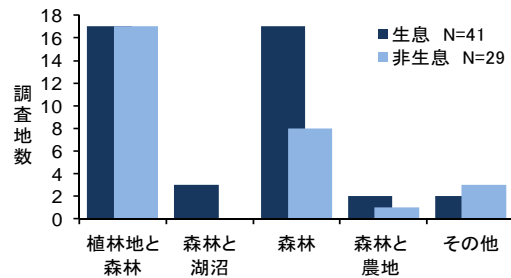


図2. 生息地と非生息地の環境区分。(記載のない非生息地の1か所を除く)

ケートで得られた生息環境は、栃木県などでの調査結果と概ね一致していました。しかしその一方で、岡山県では、生息が確認されなかった場所の環境に植林地も17か所と多くを占めていました。今回のアンケートでは林齢に関係なく環境区分を植林地としました。Ravenscroft (1989)は、ヨーロッパヨタカが選好する植林地の林齢を1~5年と報告しています。そのため、多くの植林地で生息が確認できなかったのは、林齢が関係しているのかもしれませんが。

さらに、森林の環境区分でも生息している場所と生息が確認されなかった場所がありました。生息の有無は何が関係しているのでしょうか。



写真2. ヨタカの選好する環境(若齢植林地)

### アンケート調査にご協力ください！

これらの点を明らかにする上でもさらに多くの地域からヨタカの情報が必要です。このアンケートは来年も続けたいと思っています。ぜひ、ご協力ください。また、今年の繁殖期にヨタカの記録あるいは夜間に森林へ行ったがヨタカが記録できなかったなどの記録をお持ちの方はぜひ情報をご提供ください。なお、末尾ながらアンケートにご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

### 引用文献

- 平野敏明・野中純・石濱徹・長野大輔・手塚功・石川フク・川田裕美. 2012. 栃木県におけるヨタカの生息状況(2011). *Accipiter* 18: A1-A7.
- Ravenscroft, N.O.M. 1989. The status and habitat of the Nightjar *Caprimulgus europaeus* in coastal Suffolk. *Bird Study* 36:161-169.